



上毛新聞 号外



第9日

健大 圧勝 4

県勢34年ぶり

強

▶ 準々決勝

健大高崎	2	0	0	0	2	0	5	0	0	9
鳴門(徳島)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

健大高崎―鳴門(徳島)
かえり2点目―甲子園

1回表健大高崎1死三塁、内田の適時二塁打で中山



【甲子園】米原守、入山亘記者、関口和弘カメラマン】健大高崎圧勝、県勢34年ぶりの春4強進出。第84回選抜高校野球大会第9日は30日、兵庫県西宮市の甲子園球場で準々決勝2試合を行った。本県の健大高崎は第2試合で鳴門(徳島)と対戦、9―1で快勝し、県勢として第50回大会(1978年)の桐生以来、34年ぶりのベスト4進出を果たした。

健大高崎は初回、竹内司の死球と二盗、中山奎太の送りバント野選で無死一、三塁から長坂拳弥の右前適時打で先制。さらに内田遼汰の中越え適時二塁打で2点目を入れた。

五回にも2点を追加し、4―1で迎えた七回には長坂の左越え3点本塁打などで一挙5点を奪い、一気にリードを広げた。

健大高崎の準決勝は大会第11日第1試合(4月1日午前11時開始予定)で、大阪桐蔭(大阪)と対戦する。勝てば第27回大会(55年)の桐生以来、57年ぶりの決勝進出で、県勢初のセンバツ優勝の期待が掛かる。